

小中学校の子ども達に、出前授業(理科大好き養成講座)を年間26回実施

特定非営利活動法人 マザーリーフ(理科大好き養成講座)

活動の目的

「理科大好き養成講座」は平成24年から開設し、小学校などに出向き出前講座を行っている。これまでの経験から、多くの子ども達は理科に興味を持っており、学習意欲が旺盛であることが分かった。そこで授業は音声、画像、動画を取り入れて行い、簡単な実験を加えて、理科への興味、関心、考える力を養うように工夫した。成果として子ども達は「何故なんだろう」、「やって見よう」、「そうなんだ」と興味と関心を持ち始め、学ぶ意欲を感じるようになった。このような授業方法は障害者向けの授業にも効果的であった。理科学力の低下、理科離れから回復するには、子ども達が自ら不思議を発見し、知識を関連づけて考える力を養うことが重要である。

我々のグループは子ども達に理科の考え方を興味を持つように説明し、本質を捉える簡単な実験を取り入れ、理科への興味と関心、考える力を高め、自ら学ぶ意欲と姿勢を身につけ、豊かな表現力を養うことを目標としている。また、授業中は子ども達に積極的な発言を促しプレゼンテーション力の向上を目指している。

活動の内容及び経過

県内の小学校などに出向いて、元大学の教授等による理科学力のアップや学ぶ意欲の向上を目指した出前授業を年間26回行った。小学校の教科に即して行う出前授業は学校の都合に合わせて行った。児童館などで行う出前授業は子ども達の夏休み期間中を中心に行い、ふれあい児童館などでの出前授業は依頼を受けて年間を通じて行った。

旭川荘児童院での重度の障害を持つ子ども達には当施設の教員と授業内容、子ども達の行動範囲など綿密に事前打ち合わせを行い実施した。子ども達が熱心に瞳を輝かせて授業に聞き入っていたのがとても印象的であった。特にロボットの授業では自分で操作してロボットを動かしプログラミングに挑戦していた。

病院で長期療養中の子ども達にも、理科学習を提供するため、授業内容を録画するなどの作業を行っている。

活動の成果・効果

子ども達の感想(感想文含む)などを集計・分析した結果、子ども達が理科の学習に興味を持ち、理解する力を身に付けることが出来たことが分かった。出前授業では子ども達に質問させたり、考えを発表させたりしながら授業を行ったことで、まとめる力、プレゼンテーション力の向上が図られた。授業を通じて夏休みに自主的に課題を持ち問題解決に向けた取り組みをしたいという子どももいた。



小規模の小学校では今年も学校合同で連携授業を行った。学習に加え子ども達の交流、競争力を養うことも出来た。

児童館等では親子合同の出前授業を行っており、親子と一緒に学ぶことで親子の絆ができ、子どもの学習意欲の向上と積極性が図られた。

旭川荘児童院では多くの学習支援者と出前授業を行い、子ども達の障害度に合った学習支援を行うことが出来た。子ども達はセミの生態にビックリしたり、標本に触ったりと瞳を輝かせていた。重度の障害を持つ子ども達に理科の面白さと学習意欲の向上を図ることが出来た。

今後の課題と問題点

2～3年前から小学校5～6年生向けの「プログラミング」の出前授業の依頼が多く出ており子ども達が如何に興味を持って、理解力を高めるかが課題である。

小学校の出前授業は学年が限定されるので、学年に合った授業を行うことが出来るが、児童館等での出前授業は学年が1～6年と幅が広いので、子ども達の理解度にバラつきが生じる。また昆虫(セミ、甲虫、コウロギ等)の授業では昆虫に触れない子どもがいるので、触れるようにする工夫が必要である。

病院で長期療養中の子ども達にも科学学習の機会を提供したいが、感染などの対応があるので授業内容を録画するなど工夫が必要である。

出前授業後、家庭、夏休みなどにおいて自主的に実習、実験するよう勧めている。また、学校での実験などにおいて質問がある場合の対応については学校と相談したい。

1ヵ所でも年間(12回)を通じた多様な出前講座が出来ていないので、他機関と連携した講座開設を目指したい。

●代表者：石原訓志 ●所在地：岡山市南区浜野
●TEL：090-1186-6173 ●E-MAIL：ishihara@po6.oninet.ne.jp
●設立年：2012年 ●メンバー数：52名